

口腔衛生学

責任者名：川戸 貴行

学期：前期

対象学年：3年

授業形式等：講義

◆担当教員

川戸 貴行(衛生学 教授)

森田 十誉子(衛生学 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

個人に対する保健指導と予防処置の実施、ならびに集団に対する衛生活動の計画・立案に参画するために、疾患の発症に影響する宿主・環境要因について知り、全身ならびに口腔の健康と機能の維持増進の意義を理解する。

◆到達目標 (SBOs)

- ・口腔衛生（保健）学の定義と目標を説明できる。
- ・健康増進施策に関連する重要な事項（予防の水準を含む）を列挙し、その考え方に基づく歯科衛生活動を説明できる。
- ・口腔と全身の健康の関連性を具体的に述べることができる。
- ・齲蝕と歯周病を中心とする歯科疾患の予防法を病因論と予防の水準に関連付けながら説明できる。
- ・口腔の疾病・異常とそのリスク因子の評価（疫学指標を含む）の方法を具体的に述べることができる。
- ・疫学研究法の種類と特徴を具体的に列挙し、結果が持つ意味を説明できる。
- ・歯科疾患の疫学的特徴を保健統計調査の結果と関連付けて説明できる。
- ・母子歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健、成人・高齢者歯科保健、障害者歯科保健を説明できる。

◆評価方法

授業回とは別（5月21日と7月9日）に実施する平常試験（50%）と定期試験（50%）で評価する。

平常試験後の振り返りシートの記入と試験問題の解説をもってフィードバックとする。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
川戸 貴行	水曜日 17:00~18:00 本館7階 衛生学講座	kawato.takayuki@nihon-u.ac.jp	
森田 十誉子	質問等は授業終了直後に受ける。		

◆授業の方法

教科書をもとに毎回の授業を進め、平常試験で理解度の確認と振り返りを行う。

地域保健での保健管理と保健指導または歯科臨床での予防処置などの衛生活動の経験を有する教員が、疾病予防と健康増進の概念・基礎的知識と活動の実際とを結びつけながら講義を進める。

【実務経験】

川戸 貴行：歯科医師として法定歯科検診に従事した経験から、歯科保健の実際を説明したいと考えています。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書 1	口腔衛生学 2022	松久保 隆、八重垣 健、 前野 正夫、他	一世出版	2022
教科書 2	新編 衛生学・公衆衛生学	安井利一・他	医歯薬出版株式会社	2021
参考書 1	口腔保健・予防歯科学	安井利一、宮崎秀夫、山 下喜久、他	医歯薬出版株式会社	2017
参考書 2	口腔診査法(5)	小川祐司、眞木吉信・宮 崎秀夫、他（訳）	口腔保健協会	2016

◆DP・CP

DP3

コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンシー：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

CP3

幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

予習として各回の学習到達目標を確認し、教科書を読むこと。

復習として講義内容の要点を確認して、理解が足りない事項を教科書や授業動画を見直して補うこと。

各授業回における教科書 1 の該当ページはメールにて再度、提示する（教科書改訂中のため）。

◆準備学習時間

各授業回で 1 時間の予習と 1 時間の復習、合計 60 時間を準備学習時間にあてること。

◆全学年を通しての関連教科

第2学年	後期	プロフェッショナリズムと行動科学
第2学年	後期	口腔組織学
第2学年	後期	口腔生化学
第2学年	後期	口腔生理学・口腔生化学実習
第3学年	前期	公衆衛生学
第3学年	前期	ベーシックカリオロジー
第3学年	後期	病原微生物と感染症
第6学年	前期	地域保健学

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.5	5	<p>【遠隔】</p> <p>1. 総論</p> <p>1) 口腔衛生学の定義</p> <p>(1) 口腔衛生学の領域と目標</p> <p>(2) 歯科口腔保健の推進に関する法律（歯科口腔保健法）</p> <p>(教1) pp.</p> <p>2) わが国の保健・医療・福祉・介護の制度と公衆衛生活動</p> <p>(教1) pp.</p>	<p>・口腔衛生学の意義・目的を口腔と全身の健康の健康の関連を踏まえて説明できる。</p> <p>・口腔衛生学の目的の達成では齲蝕と歯周病の予防が第一義であることを説明できる。</p> <p>・歯科口腔保健の推進に関する法律の趣旨を説明し、基本的事項を列挙できる。</p> <p>・わが国の社会保障制度の概念を理解し、その枠組みで行われる健康診断、健康診査および保健指導を列挙できる。</p>	川戸 貴行	B-1 健康の概念 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度
2		4.5	6	<p>【遠隔】</p> <p>1. 総論</p> <p>3) 健康づくり（健康増進施策）と健康教育</p> <p>(1) 健康増進施策の世界的潮流とわが国の施策</p> <p>(2) 健康増進施策に関連する重要な事項 (3) 健康教育</p> <p>(教1) pp.</p> <p>(教2) pp.3-13</p> <p>4) 予防のレベル</p>	<p>・公衆衛生学の第1回講義（4月5日3限）の学修事項に関連づけて、歯科保健活動では健康増進の概念が重要であることを説明できる。</p> <p>・我が国の国民健康づくり運動である健康日本21の歯科の項目を列挙し、基本的な方向性における歯科の位置付けを説明できる</p> <p>・疾病の予防のレベルを弁別し、齲蝕を例に説明できる。</p>	川戸 貴行	B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 B-3-1) 予防の概念

				(1) 疾病の自然史 (2) 疾病予防の概念 (教1) pp. (教2) pp.14-17		
3		4.12	5	【遠隔】 1. 総論 5) わが国の口腔の健康状態及び保健行動の現状 (1) 口腔保健に関する国家統計調査 (2) 口腔の健康状態 (教1) pp. (教2) pp.59-60	・口腔保健に関する各種保健統計調査について知り、要点を列挙できる。 ・日本人の口腔の健康状態を歯科疾患実態調査と学校保健統計調査から知り、要点を列挙できる。	川戸 貴行 B-4-2) 保健医療統計
4		4.12	6	【遠隔】 1. 総論 5) わが国の口腔の健康状態及び保健行動の現状 (3) 保健行動 (教1) pp. (教2) pp.59-60 6) 生活習慣と歯科疾患 (教1) pp.	・日本人の口腔の保健行動の現状を歯科疾患実態調査、国民健康・栄養調査から知り、要点を列挙できる。 ・生活習慣（食習慣、喫煙、ストレス）と歯科疾患との関連性を説明できる。	川戸 貴行 B-4-2) 保健医療統計
5		4.19	5	【遠隔】 2. 疫学 1) 疫学の概念 (1) 疫学の定義 (2) 疫学の対象 (3) 疫学要因 (4) 因果関係 (教2) pp.18-20 (教1) pp. 2) 疫学指標 (1) 有病率、罹患率 (2) リスク指標	・疫学の定義、目的を説明できる。 ・疾病原因の多要因性と疫学的要因の分類法を説明できる。 ・因果関係の判定の基準を列挙できる。 ・疫学指標である有病と罹患を弁別できる。 ・リスク指標である、相対危険、寄与危険、オッズ比の意味、算出概念を説明できる。	川戸 貴行 B-4-1) 歯科疾患の疫学 B-4-2) 保健医療統計

				(教2) pp.21-24 (教1) pp.			
6		4.19	6	<p>【遠隔】</p> <p>2. 疫学</p> <p>3) 疫学の研究方法</p> <p>(1) 標本抽出</p> <p>(2) 記述疫学</p> <p>(3) 分析疫学①</p> <p>生態学的研究②横断研究</p> <p>(教2) pp.24-26</p> <p>(教1) pp.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・疫学研究方法を列挙し、記述疫学、分析疫学、介入研究の流れを説明できる。 ・標本抽出方法を列挙し、概念を説明できる。 ・生態学的研究と横断研究の特徴について理解し、歯科疾患に応用する方法を説明できる。 	川戸 貴行	B-4-1) 歯科疾患の疫学 B-4-2) 保健医療統計
7		4.26	5	<p>【遠隔】</p> <p>2. 疫学</p> <p>3) 疫学の研究方法</p> <p>(3) 分析疫学③</p> <p>コホート研究④症例対照研究⑤介入研究</p> <p>(教2) pp.27-29</p> <p>(教1) pp.</p> <p>4) 誤差と交絡</p> <p>(教2) pp.30-32</p> <p>(教1) pp.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コホート研究の方法と特徴について理解できる。 ・症例・対照研究の方法と特徴について理解できる。 ・介入研究の方法と特徴について説明できる。 ・歯科疾患に関するコホート研究、症例・対照研究、介入研究例を説明できる。 ・選択バイアス、測定バイアス、交絡因子を弁別し、抑制方法を説明できる。 	川戸 貴行	B-4-1) 歯科疾患の疫学 B-4-2) 保健医療統計
8		4.26	6	<p>【遠隔】</p> <p>2. 疫学</p> <p>5) 科学的根拠 (エビデンス)</p> <p>(1) EBM (2) エビデンスのレベル (3) システマティックレビュー、メタアナリシス</p> <p>(教2) pp.32-36</p> <p>(教1) pp.</p> <p>6) スクリーニング</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・EBMの定義とステップを説明できる。 ・エビデンスのレベルの要点を説明できる。 ・疫学研究の2次研究であるシステマティックレビュー、メタアナリシス、診療ガイドラインについて説明できる。 ・スクリーニング検査の概念を説明できる。 ・スクリーニング検査結果と疾病の有無の関係性(真陽性、偽陽性、真陰性、偽陰性)を説明できる。 ・感度、特異度、偽陰性率、偽陽性 	川戸 貴行	B-4-1) 歯科疾患の疫学 B-4-2) 保健医療統計

				<p>(1) スクリーニングの概念 (2) スクリーニング検査の指標 (3) カットオフ値の設定と ROC 曲線 (教2) pp.32-36 (教1) pp.</p>	<p>率、陽性反応的中度、陰性反応的中度の算出概念を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査の陽性/陰性を区分けするカットオフ値の設定による結果と疾病有無の区分の変化を説明できる。 ・ROC 曲線による検査の精度の評価を説明できる。 		
9		5.10	5	<p>【遠隔】 2. 疫学 7) 統計指標、統計解析 (1) 衛生学における統計学の必要性 (2) 集団のデータの扱い方 (3) データの視覚表現 (4) データの分布に関する統計量 (5) 正規分布 (6) 標本抽出 (7) 統計学的検定 (教2) pp.40-46 (教1) pp.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集団のデータには量的データと非数量データがあることを理解し、説明できる。 ・量的データと非数量データを視覚的に縮約する方法 (グラフ化) を列挙できる。 ・分布の中心を表す統計量、分布の散らばりを表す統計量を列挙・説明でき、正規分布と統計学的検定について理解できる。 	川戸 貴行	<p>B-4-1) 歯科疾患の疫学 B-4-2) 保健医療統計</p>
10		5.10	6	<p>【遠隔】 3. 口腔の機能 1) 口腔機能の維持増進の意義 (1) 口腔の機能とは (2) 咀嚼機能 (教1) pp. 2) 口腔機能と発育 (1) 歯の発生 (2) 歯の萌出と交換 (3) 顎骨の発育、成長 (4) 味覚 (5) 発音 3) 摂食・嚥下機</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔の機能と全身との関連性を説明できる。 ・第2学年の教科で学修した歯の発生、歯の萌出と交換、顎骨の成長発育、味覚、発音に関する知識を口腔機能に関連させて説明できる。 ・第2学年の教科で学修した唾液の基本的事項を、歯科疾患のリスクと関連づけて説明できる。 	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の子防と健康管理

			<p>能</p> <p>(1) 正常な摂食・嚥下機能</p> <p>(2) 嚥下障害</p> <p>(教1) pp.</p> <p>4. リスク評価と保健指導のための基礎事項</p> <p>1) 唾液</p> <p>(1) 唾液腺の種類と唾液の性状</p> <p>(2) 唾液の組成と機能 (3) 唾液と歯科疾患 (4) 唾液と口腔乾燥症</p> <p>(教1) pp.</p>			
11	5.17	5	<p>【遠隔】</p> <p>4. リスク評価と保健指導のための基礎事項</p> <p>2) 歯質</p> <p>(1) 歯の硬組織の組成 (2) エナメル質の成熟</p> <p>(3) 表層エナメルと表層下エナメル</p> <p>(教1) pp.</p> <p>3) 歯周組織</p> <p>(1) 歯周組織の構造と機能 (2) 歯肉溝滲出液</p> <p>(3) 歯槽骨の吸収</p> <p>(教1) pp.</p> <p>4) バイオフィルム</p> <p>(1) 一般的なバイオフィルム</p> <p>(2) プラークの形成 (3) プラークの口腔衛生学的</p>	<p>・第2学年の教科で学修した歯と歯周組織の基本的な事項を、齲蝕と歯周病の発生に関連して説明できる。</p> <p>・歯垢の病原性をバイオフィルムの概念をもとに説明できる。</p> <p>・歯肉縁上/縁下歯垢、歯肉縁上/縁下歯石の特徴を列挙し、齲蝕と歯周病の病原性に関連づけて説明できる。</p>	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の子防と健康管理

				意義（４）歯石 （教１）pp.			
12		5.17	6	<p>【遠隔】</p> <p>４．リスク評価と保健指導のための基礎事項</p> <p>５）病原微生物 （１）口腔およびその周囲に存在する微生物の特徴 （２）病原性微生物を指標とした口腔疾患のリスク評価と予防法 （教１）pp.</p> <p>６）口臭 （１）口臭症と歯科臨床（２）口臭の臨床ガイドライン （教１）pp.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 齲蝕と歯周病のリスク評価と予防の観点で口腔内の微生物の特徴を説明できる。 ・ 口臭の分類を弁別できる。 ・ 口臭の主要な原因となる揮発性硫化物を列挙し、発生機序を説明できる。 ・ 口臭検査法の官能試験と機器分析のそれぞれの特徴を説明できる。 	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
13		5.24	5	<p>【遠隔】</p> <p>５． 歯科の二大疾患</p> <p>１）病因論 （１）齲蝕の病因論（２）歯周病の病因論 （教１）pp. * 平常試験１（５月21 実施予定）解説その１</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 齲蝕の３大要因を列挙でき、ベーシックカリオロジー第５・６回講義（６月14 日）に向けて準備ができる。 ・ 歯周病の発生機序を理解し、リスク因子を列挙できる。 ・ う蝕の肉眼的所見を列挙できる。 ・ 健康歯肉の肉眼的所見を列挙できる。 ・ 歯肉炎と歯周炎を弁別できる。 	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
14		5.24	6	<p>【遠隔】</p> <p>５． 歯科の二大疾患</p> <p>２）齲蝕と歯周病の疫学 （１）齲蝕の疫学的特徴（２）歯周病の疫学的特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 齲蝕と歯周病の特徴を列挙し、病因論と関連づけて説明できる。 ・ 不正咬合と口腔がんの疫学的特徴を列挙し、発生要因と関連づけることができる。 ・ 齲蝕、歯周病、不正咬合の疫学的特徴が歯科保健活動に反映されていることを知り、第26～30 回の講義 	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理

				<p>(3) 不正咬合 (含む顎関節)の疫学 (4) 口腔がんの疫学 (教1) pp. * 平常試験1 (5月21 実施予定) 解説 その2</p>	<p>に向けて準備ができる。</p>		
15		5.31	5	<p>【遠隔】 5. 歯科の二大疾患 4) 全身状態との関連性 (1) 糖尿病と歯周病 (2) 心血管系疾患と歯周病 (3) 呼吸器感染症と歯周病 (4) 骨粗鬆症と歯周病 (5) 早産・低体重児出産と歯周病 (6) 周術期の口腔ケア (口腔機能管理) (教1) pp.</p>	<p>・ 歯科疾患と生活習慣病、呼吸器感染症などの全身性の疾病・異常との関連性を理解し、要点を説明できる。 ・ 周術期の口腔ケアの意義を説明できる。</p>	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
16		5.31	6	<p>【遠隔】 6. 口腔状態と口腔機能の評価と指標 1) 齲蝕の指標 (1) 齲蝕有病率と齲蝕発病率 (2) 齲蝕経験 (3) 齲蝕経験を用いた疫学指標 (4) RID index (齲蝕増量指数) (5) 齲蝕抑制率 (教1) pp.</p>	<p>・ 齲蝕の疫学指標の基本となる齲蝕経験の概念について理解し、説明できる。 ・ 齲蝕経験に基づく指標、齲蝕増量指数、齲蝕抑制率について理解する。 ・ 齲蝕の疫学指標による集団特性の評価法を学び、事例から算出できる。</p>	川戸 貴行	B-4-1) 歯科疾患の疫学
17		6.7	5	<p>【遠隔】 6. 口腔状態と口腔</p>	<p>・ 歯周疾患に関する代表的な疫学指標の使用目的と特徴を学び、説明で</p>	川戸 貴行	B-4-1) 歯科疾患の疫学

				機能の評価と指標 2) 歯周病の指標 （1）PMA index （2）GI（3） CPI（4）CPI 変法 （5）PI（6） PDI（7）GB （教1） pp.	きる。 ・歯肉炎と歯周炎に関する指標の診 査基準を理解し、指標による集団特 性の評価法を学び、事例から算出で きる。		
18		6.7	6	【遠隔】 6. 口腔状態と口腔 機能の評価と指標 3) 歯口清掃の指標 （1）OHI（2） OHI-S（3）PHP （4）PCR（5） PII （教1） pp. 4) その他の口腔の 状態を表す指標 （1）歯のフッ素症 と CFI（2）不正 咬合 DAI （教1） pp.	・歯口清掃状況に関する代表的な疫 学指標の使用目的と特徴を理解し、 説明できる。 ・歯口清掃状態の各指標の診査基準 を理解し、それによる集団特性/ 個々の患者の評価法について学び、 事例から算出できる。 ・歯のフッ素症の流行状況の評価法 を学び、事例から算出できる。 ・咬合異常の疫学的指標について理 解し、要点を列挙できる。	川戸 貴行	B-4-1) 歯科疾 患の疫学
19		6.14	5	【遠隔】 6. 口腔状態と口腔 機能の評価と指標 5) 歯科集団健康診 査の理論と実際 （1）スクリー ニング（2）歯科集 団健康診査（3） 診査誤差とその抑 制（3）ICDAS （教1） pp.	・歯科集団健康診査の目的・意義に ついて理解し、説明できる。 ・疾病スクリーニングとリスクスク リーニングの違いを説明できる。 ・歯科集団健康診査の方法の基本を 学び、要点を列挙できる。	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾 患の子防と健 康管理 B-4-1) 歯科疾 患の疫学
20		6.14	6	【遠隔】 6. 口腔状態と口腔 機能の評価と指標 6) 歯周病のリス ク評価 （1）歯周病の分	・歯周疾患のリスク診断の概念を理 解し、説明できる。 ・歯周病の予防と治療で行われるス ケーリングの概要を知り、要点を列 挙できる。 ・歯科疾患の予防におけるセルフケ	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾 患の子防と

				<p>類（２）歯周病のリスクファクター</p> <p>（３）臨床における歯周病のリスクアセスメント</p> <p>（教１）pp.</p> <p>８．歯科疾患の予防方法</p> <p>１）歯科疾患の予防方法の特徴</p> <p>（教１）pp.</p>	<p>ア、プロフェッショナルケア、パブリックケアの概念とそれぞれの特徴について学び、弁別できる。</p>		
21		6.21	5	<p>【遠隔】</p> <p>８．歯科疾患の予防方法</p> <p>２）口腔ケア</p> <p>（１）定義（２）種類（３）方法</p> <p>（教１）pp.</p> <p>３）専門家による機械的歯面清掃（PMTC）と超音波デブリドメントによる歯冠部、歯根面、歯肉縁下プラークの除去とバイオフィーム構造の破壊</p> <p>（１）目的と意義</p> <p>（２）用いられる器具および材料</p> <p>（３）術式</p> <p>（教１）pp.</p> <p>４）スクレーピング</p> <p>（１）スクレーピングの目的（２）歯肉縁下へのアプローチ（ルートプレーニング）</p> <p>（教１）pp.</p>	<p>・セルフケア、プロフェッショナルケア、パブリックケアの概念とそれぞれの特徴について学び、弁別できる。</p> <p>・口腔ケアの定義、種類、方法について知り、説明できる。</p> <p>・専門家による機械的歯面清掃法の目的と方法を学び、説明できる。</p> <p>・スクレーピングとルートプレーニングと歯周病の第１次予防と２次予防の関係性を説明できる。</p>	川戸 貴行	<p>B-3-1) 予防の概念</p> <p>B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理</p>
22		6.21	6	<p>【遠隔】</p> <p>８．歯科疾患の予防</p>	<p>・歯科疾患の予防の基本となる歯口清掃の意義を理解し、説明できる。</p>	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健

				<p>方法</p> <p>5) 口腔清掃</p> <p>(1) 口腔清掃からみた歯面 (2) プラークコントロール (3) 歯ブラシによる清掃</p> <p>(4) 誤った歯ブラシの使用による害</p> <p>(教1) pp.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手用歯ブラシによるブラッシング法を、毛先を使う方法と毛の脇腹を使う方法に分類し、説明できる。 ・電動歯ブラシによる清掃の特徴を列挙できる。 ・補助的清掃器具を列挙し特徴を説明できる。 ・誤ったブラッシングの使用による害を列挙できる。 		健康管理
23		6.28	5	<p>【遠隔】</p> <p>8. 歯科疾患の予防方法</p> <p>5) 口腔清掃</p> <p>(5) 歯磨剤</p> <p>(6) 洗口剤</p> <p>(7) 口腔粘膜の清掃 (8) 口腔清掃指導</p> <p>(教1) pp.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯磨剤と洗口の役割、基本成分と薬用成分を列挙し、作用と関連づけて説明できる。 ・口腔粘膜の清掃に用いる機材を列挙できる。 ・齲蝕、歯周病の年齢特性、口腔の状況、手指の動作の巧緻性を考慮した口腔清掃指導の重要性を説明できる。 	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
24		6.28	6	<p>【遠隔】</p> <p>8. 歯科疾患の予防方法</p> <p>6) 禁煙支援</p> <p>(1) 禁煙支援の意義 (2) タバコの依存性 (3) 禁煙支援 (4) 受動喫煙の防止</p> <p>(教1) pp.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学年教科プロフェッショナルリズムと行動科学での学修を踏まえ、歯科臨床における禁煙支援の意義を説明できる。 ・禁煙支援の方法を説明できる。 	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
25		7.5	5	<p>【遠隔】</p> <p>8. 歯科疾患の予防方法</p> <p>7) 歯周病とメタボリックシンドロームに関する疫学研究</p> <p>1) メタボリックシンドロームの概</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドロームの概念と対策の重要性について理解し、説明できる。 ・メタボリックシンドローム対策である特定健康診査特定保健指導について説明できる。 ・歯周病とメタボリックシンドロームとの間に関連性があることを、横断研究 (J Pub Health Dent 69, 248- 	森田 十誉子	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理

				<p>念</p> <p>2) 特定健康診査 特定保健指導</p> <p>3) 歯周病とメタボリックシンドロームの関連性 (教1) pp.</p>	<p>253, 2009) とコホート研究 (J Periodontol 84, 512-519, 2010) の結果から学び、事例から疫学指標を算出できる。</p>		
26		7.5	6	<p>【遠隔】</p> <p>9. 公衆衛生活動・地域保健</p> <p>1) 母子歯科保健 (1) 母子歯科保健の意義・目的および特徴 (2) 乳幼児の口腔の特徴と歯科保健 (3) 妊産婦の特徴と歯科保健母子 (4) 歯科保健対策 (教1) pp. (教2) pp.149-161</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国における口腔保健に関する公衆衛生活動の要点を列挙できる。 ・公衆衛生学第9回(6月7日)での学修事項を踏まえ、母子歯科保健の意義を説明できる。 ・妊産婦と乳幼児の口腔の好発疾患を列挙できる。 ・母子歯科保健対象者、関連法規を列挙、説明できる。 ・妊産婦健診、1歳6か月児健診、3歳児健診にお齲蝕罹患型を含む)について説明できる。 	川戸 貴行	<p>A-7-1) 地域医療への貢献</p> <p>B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度</p> <p>B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理</p>
27		7.12	5	<p>【遠隔】</p> <p>9. 公衆衛生活動・地域保健</p> <p>2) 学校における歯科保健 (1) 学校歯科保健の意義と学齢期好発疾患の現状 (2) 学校(歯科)保健活動 (3) 「心身の発達の段階からみた子供の歯・口の健康づくり」の課題 (4) 特別支援学校・特別支援学級等での歯科的対応の基本(5) 学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生学第10回(6月14日)での学修事項を踏まえ、学校歯科保健の意義を説明できる。 ・学齢期の好発歯科疾患を列挙できる。 ・学校歯科保健対象者、関連法規を列挙、説明できる。 ・学校保健活動を、教育・管理・組織活動別に説明できる。 ・学校歯科健康診断で用いる記号を事後措置と関連づけて説明できる。 ・心身の発達段階からみた子ども歯・口の健康づくりの趣旨を説明できる。 ・特別支援学校・学級での歯科的対応、学校歯科医と児童虐待について概説できる。 	川戸 貴行	<p>A-7-1) 地域医療への貢献</p> <p>B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度</p> <p>B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理</p>

				<p>歯科医と児童虐待の関わり (教1) pp. (教2) pp.162-178 平常試験-2 (7月9日実施予定) 解説 その1</p>			
28		7.12	6	<p>【遠隔】 9. 公衆衛生活動・地域保健 3) 職域成人の歯科保健 (1) 産業歯科保健の意義 (2) 労働衛生の3管理 (3) 職業性歯科疾患 (教1) pp. (教2) pp.179-191 平常試験-2 (7月9日実施予定) 解説 その1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生学第11回 (6月21日) での学修事項を踏まえ、職域成人を対象とした保健の意義を概説できる。 ・職業性の酸蝕症について説明できる。 ・職業性歯科疾患対策を例に作業環境管理・作業管理・健康管理を説明できる。 ・職業性歯科疾患と特殊健康診断について説明できる。 	川戸 貴行	<p>A-7-1) 地域医療への貢献 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理</p>
29		7.19	5	<p>【遠隔】 9. 公衆衛生活動・地域保健 4) 成人および高齢者の歯科保健 (1) 成人歯科保健の意義 (2) 成人歯科保健対策 (3) 老人と加齢 (4) 高齢者のADLとQOL (5) 介護保険制度と口腔機能の向上プログラム (教1) pp. (教2) pp.192-222</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生学第12回 (6月28日) と第13回 (7月5日) での学修事項を踏まえ、成人・高齢者の歯科保健の意義を概説できる。 ・健康増進法に基づく市町村による成人歯周疾患健診について説明できる。 ・特定健康診査・特定保健指導、介護保険制度での歯科の関わりを説明できる。 ・口腔清掃の自立度判定基準 (BDR指標) を説明できる。 	川戸 貴行	<p>A-7-1) 地域医療への貢献 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理</p>

		7.19	6	<p>【遠隔】</p> <p>9. 公衆衛生活動・地域保健</p> <p>5) 障害者の歯科保健</p> <p>(1) 障害児・者の歯科保健医療管理</p> <p>(教1) pp.</p> <p>(教2) pp.223-232</p> <p>6) 国際協力と歯科保健</p> <p>(1) 世界の口腔保健の状況 (2) 世界の保健医療の状況</p> <p>(教1) pp.</p> <p>(教2) pp.240-246</p> <p>7) 災害時の歯科保健医療</p> <p>(教1) pp.</p> <p>(教2) pp.145-148</p>	<p>・公衆衛生学第14回(7月12日)での学修事項を踏まえ、障害者歯科保健の分野の問題点と活動内容の特徴について理解し、説明できる。</p> <p>・公衆衛生学第15回(7月19日)での学修事項を踏まえ、世界保健機構の口腔保健部門の活動について説明できる。</p> <p>・大規模災害における歯科の役割について説明できる。</p>	川戸 貴行	<p>A-7-1) 地域医療への貢献</p> <p>B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度</p> <p>B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理</p>
--	--	------	---	---	--	-------	--

